



発行元: iP-U事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学 TEL028-649-5411 URL <http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/iP-U/>

自分に必要な英語を iP-U で身につける

iP-U が重要視する5つの基盤的能力に「共創的コミュニケーション力」があります。具体的には、受講生が自分の研究に必要なことを「英語で協力依頼できるようになる」力を指します。

たとえば、才能育成プランでは、受講生が指導教員と一緒に海外に行き、そこで採集したウイルスや化石などのサンプルを帰国後に調べるテーマがあります。この際に受講生は、自分の研究に必要なことを英語で現地の協力者に依頼し、タスクを達成することが求められます。

また、今年は海外の学会でオンライン発表することがありました。通常の学会では、受講生は指導教員や大学生と一緒に参加しますが、オンラインの場合は自宅から一人での参加です。英語で行う発表に対して、チャットに書き込まれる質問は英語、回答も自分で考えて英文で送信します。同じテーマに取り組む他の研究者の発表の際には、自分の研究のために必要なことを英語で質問することも大切になってきます。

このように、英語を使ってコミュニケーションをはかることができ、自分の研究に人を巻き込んでいくことは、研究やビジョンを実現するために必要なことなのです。

iP-U では、このスキルの育成のため、宇都宮大学基盤教育英語プログラム(EPUU)のネイティブ教員のサポートの下、受講生が

- ①外国人と接することに抵抗がなくなり、それを楽しむ
- ②コミュニケーションの基礎技術（傾聴、質問）を使う
- ③自分の考えを英語や日本語で伝えようとする

強い意欲をもつ

ことを目的に、基盤プランでは「必修科目：グローバル・コミュニケーション」と「選択科目 B：Ec Lab」を開講しています。才能育成プランの「Advanced ECLab」では、自分の研究に必要な英語をより主体的に学びます。

今年度はオンライン授業のため、相手とコミュニケーションを取るためには、相手の言おうとしていることを聞く姿勢や、自分の言いたいことを諦めずに伝える努力、相槌やハンドサイン（ピースやグッドなど）が欠かせません。今年状況をチャンスと捉えて、iP-U での授業で「英語力+コミュニケーション力」を一気に身につけましょう。



9月前半の予定

5日(土)

デザイン力実践講座 I

プレゼン力養成講座①

海洋プランクトンから

進化を探る③・④

6日(日)

EC Lab③

SDGs 時代における社会形成

基盤としての土壌の役割を

研究・発信しよう③